

平成25年度

石巻市派遣職員 活動報告

- 一般事務
- 土木技術
- 建築技術



石巻市の被害状況

(石巻市HPより引用)

地震概要(気象庁発表)

- 発生日時 平成23年3月11日(金) 14時46分
- 震央地名 牡鹿半島の東南東約130kmの三陸沖
(北緯38度06.2分/東経142度51.6分)
- 深さ 24km ○規模 M9.0 ○震度 震度6強(石巻市)

津波概要

- 津波の高さ 最大高さ T.P(東京湾平均海面) +8.6m(鮎川:気象庁発表)
※津波計による最大高さ
- 浸水面積 73km²(H23.4.18国土地理院発表)
※市内の13.2%(平野部の約30%)が浸水
※T.Pとは、東京湾平均海面(Tokyo Peil)のことで、全国の標高の基準となる海水面の高さです。
- <参考> 被災6県62市町村の浸水面積合計 561km²
(石巻市の浸水面積は全国の浸水面積のおよそ13%を占める)



石巻市の被害の状況

[]は全国(H26.10.10 警察庁発表)

- 人的被害 死者数 3,174人 [15,889人]
行方不明者 428人 [2,598人]
- 建物被害 全壊 20,035棟 [127,511棟]
半壊 13,044棟 [273,795棟]
一部損壊 23,615棟 [744,975棟]
合計 56,694棟 [1,146,281棟] ※石巻市の被災住家数は、被災前全住家数の76.6%を占めます
- 地盤沈下 最大沈降 -120cm(牡鹿地区鮎川)
※参考資料:地盤沈下状況...P72参照



避難状況

- 最大避難者数 50,758人(H23年3月17日時点)
- 最大避難所数 259箇所

▲日和山より津波引波時の旧北上川中瀬方向をのぞむ
(平成23年3月11日17:00撮影)

石巻市 復旧・復興事業費の推移（推計）

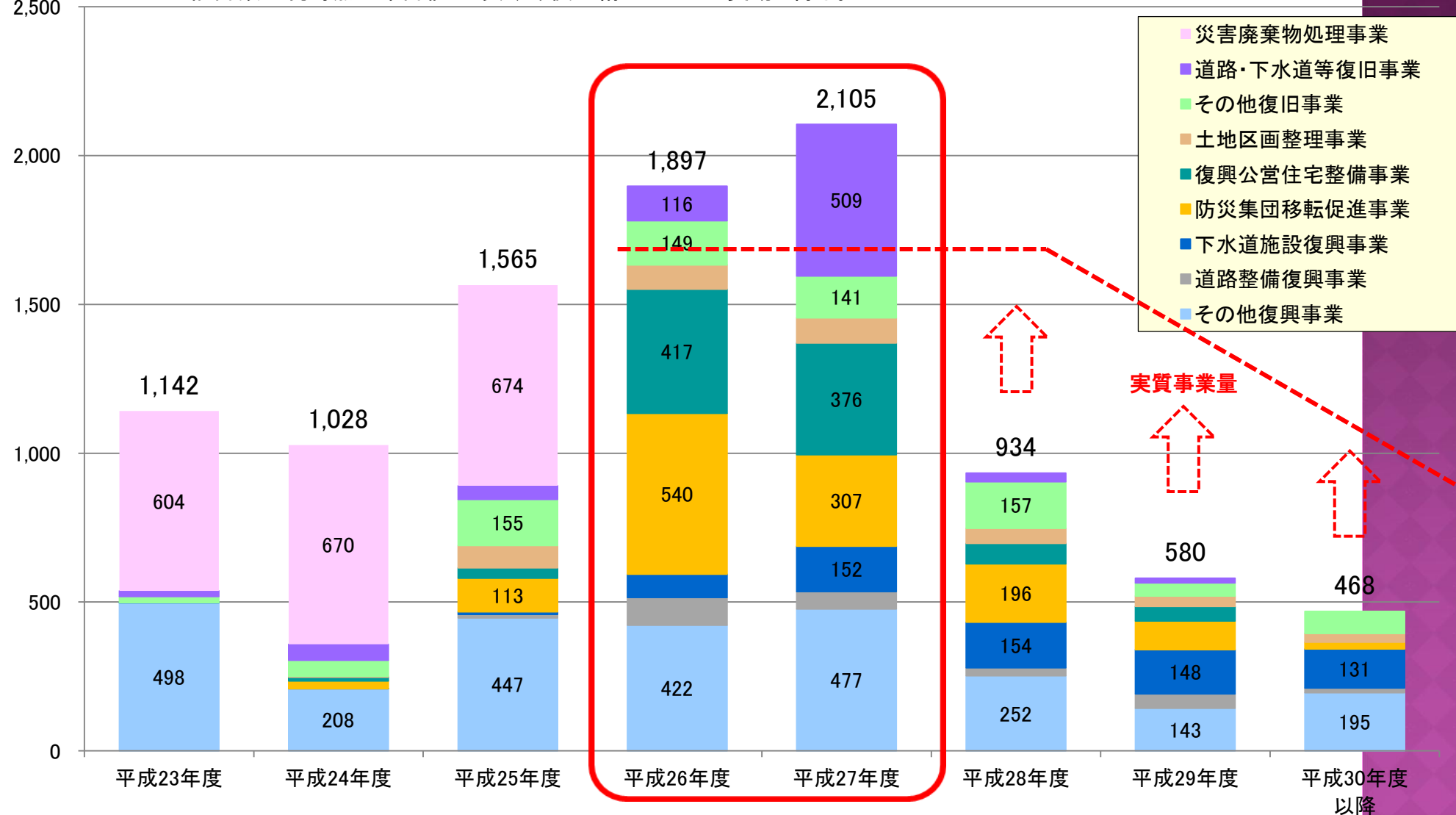
石巻市作成
「石巻市における今後の復興の道行き」より引用

計画上の事業実施ピークは平成26・27年度。

しかし、業務遅延や入札不調により、多くの事業実施が後年度にずれ込むと見込まれる。

(億円)

※ 下記計数は現時点の集計値であり、今後の精査によって変動し得る。



職種：一般事務

派遣期間

平成24年4月1日～平成26年3月31日

配属先

平成24年度：福祉部被災市民生活支援課

平成25年度：福祉部生活再建支援課

業務内容

- ・ 応急仮設住宅入・退去者の管理業務
- ・ 空室の管理業務
- ・ 待機者の管理業務

業務内容

○ 業務内容

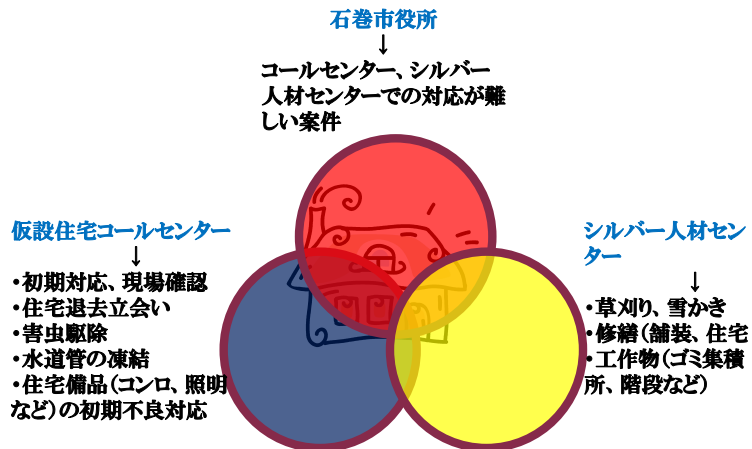
◎ 仮設住宅の管理運営

1 入居者管理(ソフト面)

- ・入居申請受付、入居者トラブルへの対応
- ・又貸しや生活実態のない住戸への対応
- ・社会福祉協議会やボランティア等と連携した地域福祉の推進

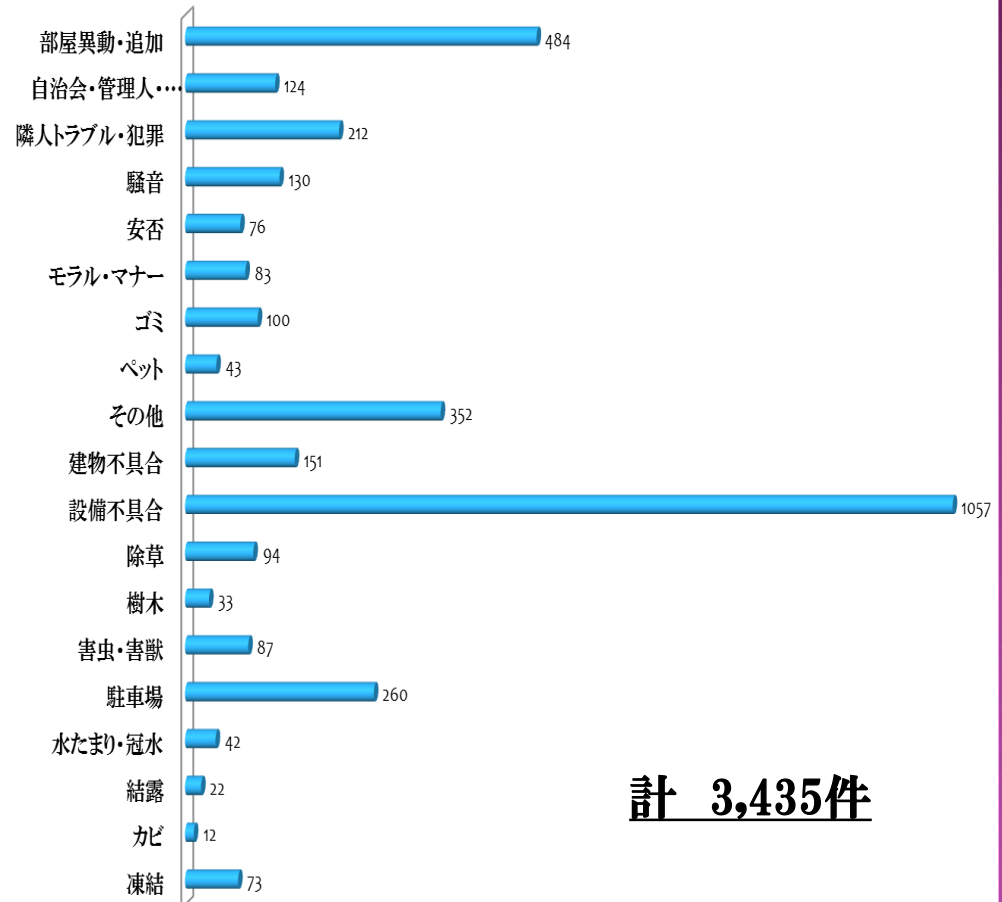
2 住宅管理(ハード面)

- ・住宅不具合への対応



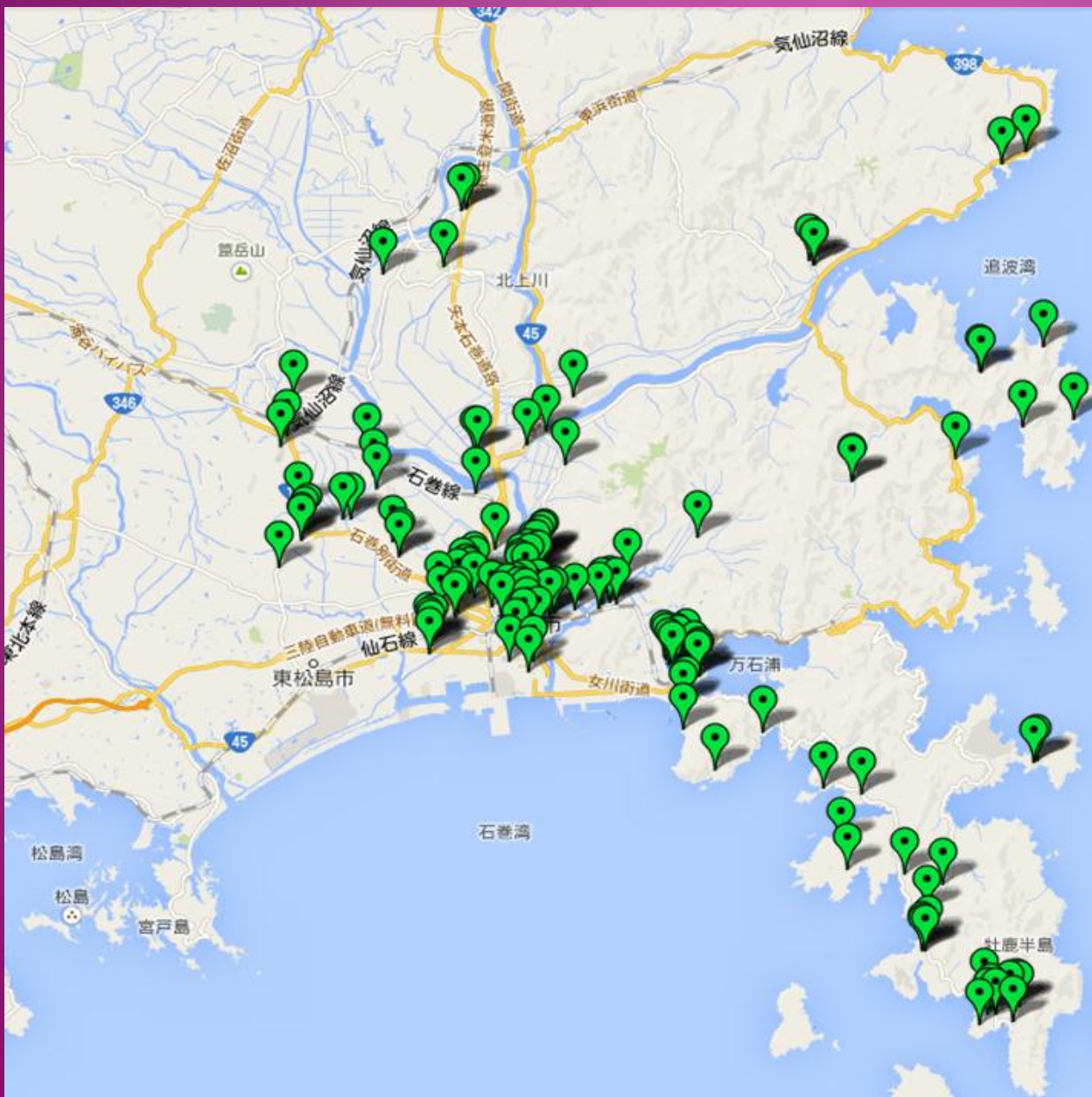
主な仮設住宅対応件数

(平成23年8月～平成26年2月)



計 3,435件

応急仮設住宅配置状況



○整備・入居状況（平成26年9月末現在）

	申請 件数	整備戸数		空き 戸数	入居者	
		箇所数	戸数		件数	人数
①応急仮設住宅	—	133	7,122	1,080	6,042 (7,102)	13,554 (16,788)
②民間賃貸住宅	7,231	—	—	—	4,149 (5,808)	10,747 (15,482)
合計					10,191 (12,910)	24,301 (32,270)

※（ ）内の値は、ピーク時の数値。

①応急仮設住宅・・・平成24年6月 ②民間賃貸住宅・・・平成24年5月

仮設住宅例



開成・南境地区仮設住宅 (被災地最大規模)

- 設置戸数 1,882戸
- 居住者数 4,139人
(平成26年3月1日現在)

右は住宅メーカーが建設した仮設住宅



担当業務

<不具合対応例①>



○ 結露とカビ

仮設住宅は構造上、鉄骨や屋根等から結露が発生しやすい。写真右はカビが発生した写真で、結露が原因とみられる。

担当業務

<不具合対応例②>



○ 台風による倒木

仮設住宅の建設地は、主に公園や運動場となっている。自然が多い土地柄、強風による倒木や、春～夏にかけて害虫被害が発生しやすい。

職種：土木技術

派遣期間

平成25年1月1日～平成26年3月31日

配属先

建設部道路課建設グループ

業務内容

市道、橋梁等の復旧工事に係る設計・施工監理業務

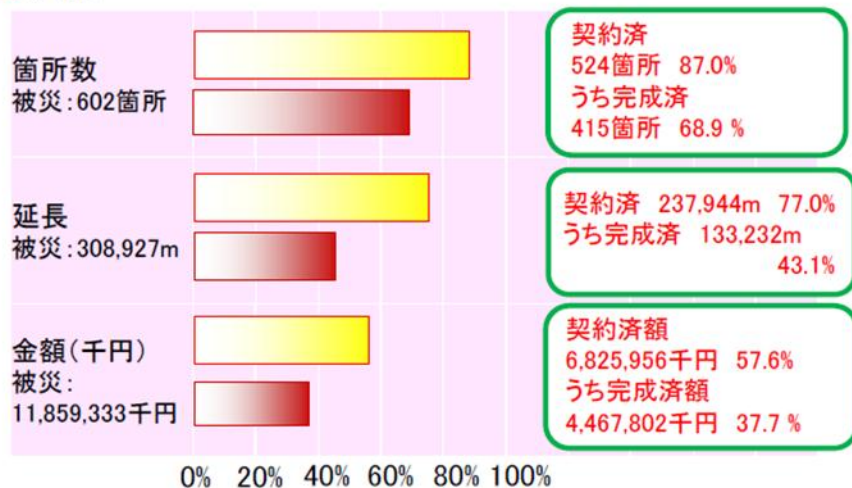
業務内容

○ 業務内容

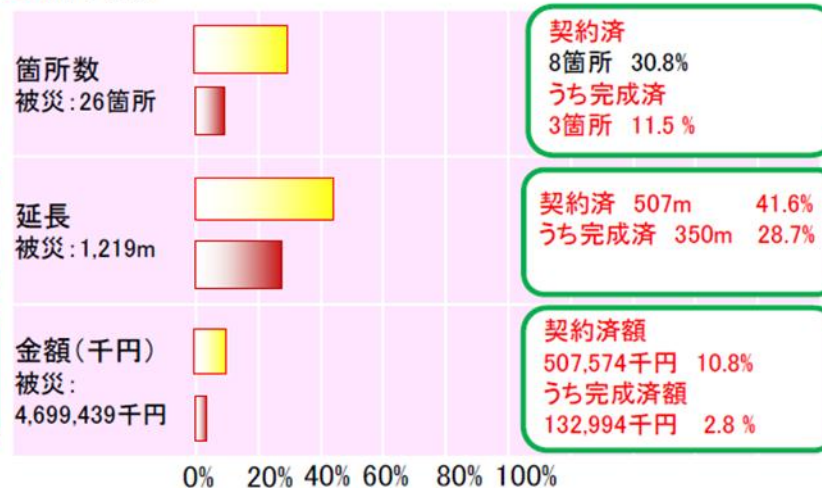
- 道路・橋りょう等の災害復旧に係る設計・工事の監督

○ 道路被災及び復旧状況 (H26.10月現在 石巻市HP引用)

○道路



○橋りょう



被災状況例（道路）



路面の沈下・ひびわれ、
ガードレールの沈下



被災状況例（橋梁）



舗装・高欄の損傷、
橋梁自体の沈下



被災状況例（法面）



法面の崩壊



担当業務例

<災害復旧（道路）> 舗装・側溝復旧

復旧前



復旧後



地盤沈下による
対策事例①

- 側溝を敷地側に移動
- 集水柵を嵩上げし、側溝の高さを確保

→急勾配を緩和

担当業務例

復旧前

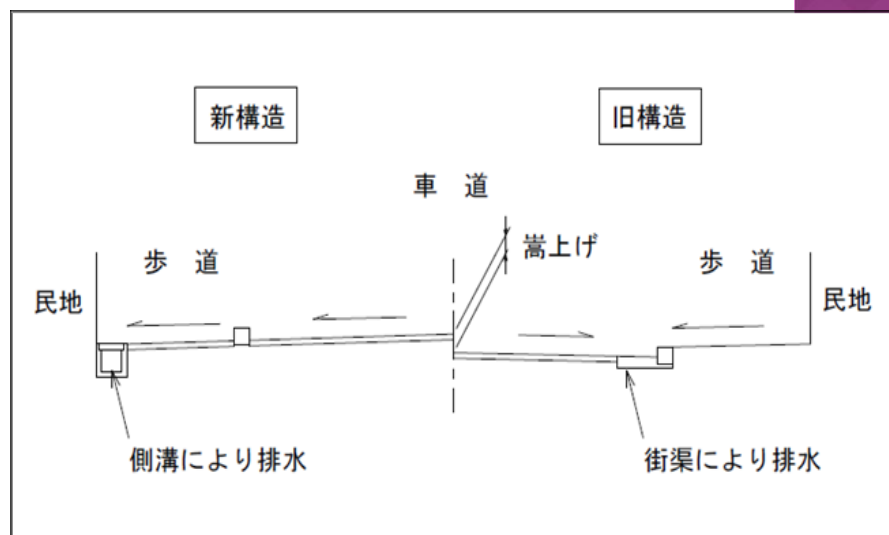


地盤沈下による 対策事例②

- 地盤沈下により、車道上に雨水が滞留し、通行の支障となり、道路構造の見直しを図った。

→排水機能回復

復旧後



職種：建築技術

派遣期間

平成25年8月1日～平成26年3月31日

配属先

建設部建築課

業務内容

公共施設の復旧工事に係る設計・施工監理業務

業務内容

業務内容

公共施設（復旧工事）の設計および工事監理業務
（復興住宅は除く）

平成25年度の建築課実績

全体（工事、委託）

発注件数 129件

うち 契約件数 107件

建築工事

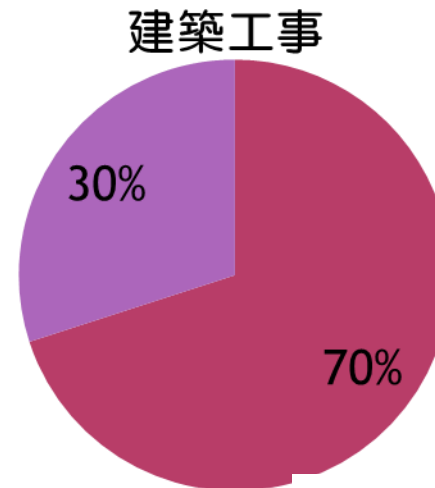
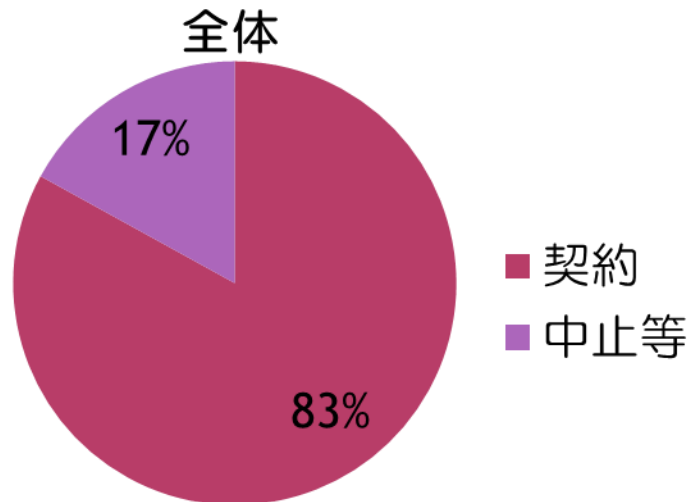
発注件数 51件

うち 契約件数 36件

総契約額 約108億円

ほとんどが国や県の補助事業

契約割合



担当業務 ①

- ◆ 被災資料等仮保管施設改修工事設計業務
- ◆ 被災資料等仮保管施設外部改修工事

津波により被災した湊第二小学校を、保管場所が被災した文化財資料の仮保管施設として改修を行う。

平成25年度の工事は1階の外壁、外構の改修を行った。

引き続き、平成26年度工事として内部改修工事を行った。

工事場所
石巻市大門町2丁目21番4

担当業務 ①

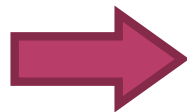


湊第二小学校 津波被災後の状況

担当業務 ①



改修前



改修後

担当業務 ②

◆ 旧本庁舎解体工事設計業務

旧石巻市庁舎の解体設計業務。

平成26年度に工事発注し、解体完了。

解体後は復興住宅及び老人福祉センターの複合施設を建設予定。

復興公営住宅・老人福祉センター複合施設

鉄筋コンクリート造5階建

延べ床面積 3,480㎡程度

復興公営住宅 40戸（2,840㎡程度）

老人福祉センター（640㎡程度）

工事場所

石巻市日和が丘一丁目1番1号

担当業務 ②



旧本庁舎 解体前



旧本庁舎 解体中

担当業務 ③

- ◆ 水産物地方卸売市場牡鹿市場・牡鹿製氷冷蔵庫建設工事設計業務
- ◆ 水産物地方卸売市場牡鹿市場・牡鹿製氷冷蔵庫建設工事

津波により被災した牡鹿市場の建替え設計および工事。

牡鹿売場及び牡鹿製氷冷蔵庫

鉄骨造2階建

延べ面積 1,727.02m²

魚市場、製氷冷蔵庫

建築、機械設備、電気設備、プラント設備、外構

工事場所

石巻市鮎川浜丁55番

担当業務 ③



牡鹿市場 現況

担当業務 ③



牡鹿市場 完成予想図

担当業務 ④

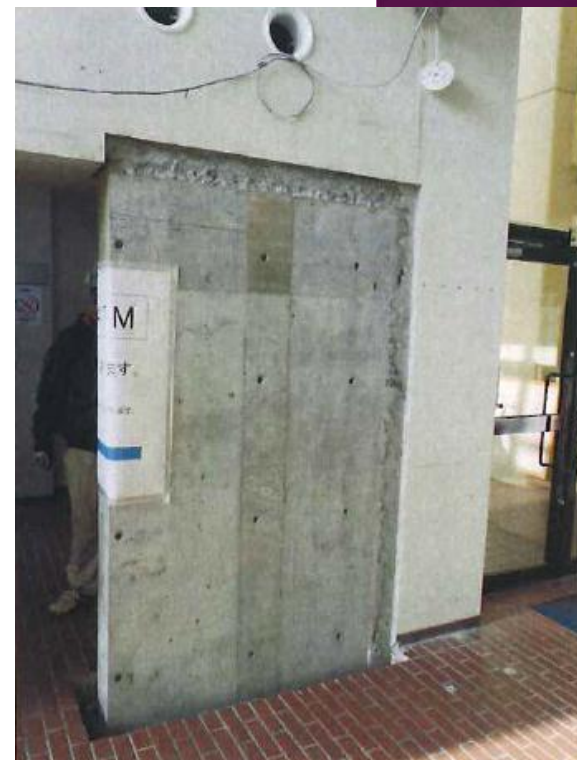
◆ 牡鹿総合支所耐震補強工事・災害復旧工事

耐震壁補強、床、壁、天井補修、外構補修

工事場所

石巻市鮎川鬼形山1番13

担当業務 ④



牡鹿総合支所 改修状況

担当業務 ⑤

◆ おしか家族旅行村オートキャンプ場サニタリー棟災害復旧建設工事

被災したサニタリー棟の建替え工事。

木造 1階建て 延べ面積 154.02㎡

便所、シャワー室、炊事場

工事場所

石巻市鮎川浜駒ヶ峯1番1

担当業務 ⑤



サニタリー棟 完成写真

担当業務 ⑥

◆ おしか御番所公園展望台災害復旧建設工事

被災した展望台の建替え工事。

鉄骨造 2階建て 延べ面積 184.08㎡

展望台

工事場所

石巻市鮎川浜黒崎1番643

担当業務 ⑥



展望台 完成写真